

## STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

事業全体の目標

### 事業の一覧

職場環境の整備	
その他	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙発行
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者・任継者）
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	ヘルスリテラシーの向上（特定保健指導対象者への情報提供等）
保健指導宣伝	ICTの活用（アプリを通じた医療費通知等の情報提供）
保健指導宣伝	後発医薬品使用促進
保健指導宣伝	適正服薬に関する指導
保健指導宣伝	退職後健康セミナー
疾病予防	大腸がん検診（郵送）
疾病予防	健康・メンタル相談
疾病予防	生活習慣病の受診勧奨
疾病予防	3疾患および慢性腎臓病（CKD）の重症化予防
疾病予防	胃がん検診
疾病予防	子宮がん検診
疾病予防	乳がん検診
疾病予防	糖尿病性腎症重症化予防
疾病予防	歯科保健指導
疾病予防	市町村がん検診受診勧奨
疾病予防	各種予防接種の受診勧奨
疾病予防	肺がん検診
体育奨励	ヘルスアップ・キャンペーン
体育奨励	スポーツジムの利用促進
その他	PHRの環境整備

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標										アウトカム指標							

職場環境の整備

その他	1	既存	健康管理事業推進委員会	全て	男女	22～(上限なし)	その他	3	ス	-	ア	-	外部委託しない	55	健康管理事業推進委員会の定期開催	保健事業の円滑な運営推進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	開催回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度:2回)-										(アウトカムは設定されていません)						

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	1	既存	機関紙発行	全て	男女	20～74	被保険者,任意継続者	1	ス	-	シ	-	外部委託しない	650	読みやすくわかりやすい機関誌を発行する	情報発信により健康意識を向上させる。	機関誌発行
	配布率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100%)機関紙を見る人の割合向上 健康情報を活用する人の増加										(アウトカムは設定されていません)						

個別の事業

特定健康診査事業	3	既存	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	2	ケ	-	ア,コ	-	外部委託しない	0	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以上の被保険者を対象とした特定健診を事業主健診と合わせて実施	安衛法に基づく事業主健診と合わせて実施全事業所に対し、健診結果の情報提供を求める	被保険者の2021年度健診受診率は65歳以上を除き95%を上回る。 しかし、被扶養者の検診受診率は40代前半および60歳以上において60%を下回る	
	情報提供の呼びかけ(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100%)安衛法に基づく事業主健診と合わせて実施全事業所に対し、健診結果の情報提供を求める										生活習慣リスク保有者率(【実績値】27.4% 【目標値】令和6年度:26%)生活習慣病リスク保有者率=患者予備群+治療放置群							
	特定健診実施率(【実績値】99% 【目標値】令和6年度:100%)特定健診受診率90%(被保険者99%)										内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】12.9% 【目標値】令和6年度:12%)-							
	3	既存	特定健診(被扶養者・任継者)	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	1	ア,コ	-	シ	-	外部委託しない	6,765	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以上の被扶養者、任意継続者を対象とした特定健診	●健診未受診者のパターン分析に基にパターン毎に異なるコンテンツによる検診勧奨通知を送付し、受診勧奨を促す。 ●"過去5年未受診者に対して被保険者にメールでの案内を実施する。 その際、自治体やパート先での健診受診を行っている場合に、健保ヘデータ送付をして頂く案内を行う"	被保険者の2021年度健診受診率は65歳以上を除き95%を上回る。 しかし、被扶養者の検診受診率は40代前半および60歳以上において60%を下回る	
行動量(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100%)個別介入の実施										生活習慣リスク保有者率(【実績値】12.8% 【目標値】令和6年度:12%)-								
特定健診実施率(【実績値】44.5% 【目標値】令和6年度:67%)特定健診受診率90%(被扶養者70%)										内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】7.2% 【目標値】令和6年度:7%)-								
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者	1	ケ	-	シ	-	外部委託しない	3,500	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】保健師・管理栄養士の指導のもと、生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施	●メタボリックシンドローム減少を目的に、保健指導を実施。生活習慣改善アドバイスを発行行動変容を促す。	特定保健指導の対象者数は減少傾向にあるものの、2022年度においては31名のリバウンドが存在する	
	指導希望者への保健指導実施(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100%)優先順位(被保険者数・該当者割合)に基づき、特定保健指導対象者への指導勧奨を行う										特定保健指導対象者割合(【実績値】15.2% 【目標値】令和6年度:14%)-							
	特定保健指導実施率(【実績値】55.9% 【目標値】令和6年度:56%)-										特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】25% 【目標値】令和6年度:25%)令和5年度実績は不明のため仮に25%としている							
	-										腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】50% 【目標値】令和6年度:50%)令和5年度実績は不明のため仮に50%としている。目標も含め見直し予定							
5	既存	ヘルスリテラシーの向上(特定保健指導対象者への情報提供等)	全て	男女	40～74	被保険者	1	ケ	-	シ	-	外部委託しない	1,000	【目的】健康意識の醸成 【概要】特定健診結果を順位付けし健康ポータルサイトに表示、特定保健指導対象者に対し健診結果に基づく個別の情報提供等を行い、ヘルスリテラシーの向上を図る。	健康への関心・維持管理の必要性を認識してもらう為に本人にとって、わかりやすい情報発信により、ヘルスリテラシー向上を促す 特定保健指導対象者に対しては、健康情報の提供によりヘルスリテラシーを向上させ、生活習慣の改善意欲を促す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)		
健康情報の提供(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100%)情報提供によるヘルスリテラシー向上										特定保健指導参加率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:-)特定保健指導不参加者の次年度指導実施率を一定向上させる。								
-										生活習慣改善意欲(【実績値】-% 【目標値】令和6年度:45%)-								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者											
アウトプット指標														アウトカム指標				
保健指導宣伝	5	既存	ICTの活用（アプリを通じた医療費通知等の情報提供）	全て	男女	22～74	被保険者	1	ア,エ,ケ	ポータルサイトによる医療費通知等のアプリを通じた情報提供	コ,シ	-	外部委託しない	1,300	【目的】 効率的かつ迅速な医療情報提供【概要】 アプリを通じた情報提供。参加者にはインセンティブ付与	WEBによる医療費通知取組みの浸透等、健康情報の提供によるヘルスリテラシーの向上	医療費通知	
	利用率(【実績値】 20% 【目標値】 令和6年度：20%)内容を開封し点検する人の増加 医療費への関心の醸成														アプリ登録率(【実績値】 -% 【目標値】 令和6年度：25%)-			
	アプリ登録環境整備(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)-														-			
	7	既存	後発医薬品使用促進	全て	男女	18～74	加入者全員	1	キ,ス	-	シ	-	外部委託しない	100	【目的】 医療費削減 【概要】 ジェネリック薬品に切り替えた場合の負担軽減額の情報提供	後発医薬品に代替余地がある対象者へ差額通知を実施し、後発医薬品への切替を促し、切替による効果を検証する	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	促進実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)後発医薬品に代替余地がある対象者へ差額通知を実施する。														使用割合(【実績値】 81.3% 【目標値】 令和6年度：80%)後発医薬品の使用割合80%を維持する。			
疾病予防	5	新規	適正服薬に関する指導	全て	男女	22（上限なし）	加入者全員	1	キ,ス	-	シ	-	外部委託しない	150	【目的】 多剤併用による健康被害の防止 【概要】 多剤併用で有害事象の可能性のある方に通知を行う	多剤併用で有害事象の可能性のある加入者に通知を行い、適正服薬に向けた勧奨を行う	該当なし	
	周知率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)-														-(アウトカムは設定されていません)			
	5	新規	退職後健康セミナー	全て	男女	60～60	加入者全員	1	ケ,ス	-	シ	-	外部委託しない	0	【目的】 退職後の健康維持、国保・後期へのバトンタッチ 【概要】 退職者向け健康セミナーを行う	退職者に健康情報を伝達し自治体が実施する保健事業へのバトンタッチがスムーズにできるようにする	該当なし	
	周知率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)-														-(アウトカムは設定されていません)			
	3	既存	大腸がん検診（郵送）	全て	男女	20～74	被保険者,その他	1	ウ	-	シ	-	外部委託しない	1,300	【目的】 がんの早期発見 【概要】 郵送キットによるスクリーニング検査	がんの早期発見・早期治療を目的とした郵送がん検診を実施し、がんの占める医療費を削減させる	がん種別では乳がんの医療費が最も高いが、肺、女性生殖器、前立腺が大きく上昇した。	
受診者数の増加(【実績値】 559人 【目標値】 令和6年度：50人)目標値は増加人数を記載														がんの早期発見にはつながるが、直接成果を把握することが困難なため (アウトカムは設定されていません)				
6	既存	健康・メンタル相談	全て	男女	22～74	加入者全員	1	ス	-	ウ	-	外部委託しない	750	【目的】 健康・メンタル相談 【概要】 外部の専門機関による相談対応	メンタル疾患を抱える方に対する相談機会を提供し、相談件数を増加させる	男性50代のうつ病患者数が多い		
相談窓口の周知提供回数(【実績値】 3回 【目標値】 令和6年度：3回)情報誌やホームページでメンタルヘルス不調者への相談窓口を設置していることを周知させる														相談件数の多寡では評価できないため (アウトカムは設定されていません)				
4	新規	生活習慣病の規受診勧奨	全て	男女	40～74	被保険者	1	イ,ク	-	シ	-	外部委託しない	50	【目的】 ハイリスクアプローチ 【概要】 健診・レセ情報に基づき治療放置者および長期治療中断者に対する個別受診勧奨通知の状況	治療放置群に対し、受診勧奨通知を送る※治療放置群分析よりリスク別に介入の可否や方法を検討する	G3a以上のリスク者136人のうち、92人は未受診である		
受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)中・高リスク対象者全員へ通知を送付する														-(アウトカムは設定されていません)				
4	新規	3疾患および慢性腎臓病（CKD）の重症化予防	全て	男女	40～74	被保険者	1	イ,ク	-	シ	-	外部委託しない	200	治療放置群に対し、受診勧奨通知を送る	治療放置群に対し、受診勧奨通知を送る	G3a以上のリスク者136人のうち、92人は未受診である		
受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)リスク対象者全員へ通知を送付する														ハイリスク者の参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)特に重症な人をピックアップし、レセプトで検証、参加させる。ハイリスク群の参加率100%を目指す				
3	既存	胃がん検診	全て	男女	20～74	被保険者,その他	3	ウ	-	シ	-	外部委託しない	2,760	【目的】 がんの早期発見 【概要】 郵送キットによるスクリーニング検査、人間ドック・特定健診のオプション健診費用の一部負担（胃部検査、胃部X線、胃内視鏡）	がんの早期発見・早期治療を目標とした郵送がん検診およびオプション健診を実施し、がんの占める医療費を削減させる	がん種別では乳がんの医療費が最も高いが、肺、女性生殖器、前立腺が大きく上昇した。		
受診者数の増加(【実績値】 597人 【目標値】 令和6年度：50人)人数は郵送検診の人数。目標値は増加目標。（予算も郵送検診の予算を記載）														がんの早期発見にはつながるが、直接成果を把握することが困難なため (アウトカムは設定されていません)				
3	既存	子宮がん検診	全て	女性	20～74	被保険者,その他	3	ウ	-	シ	-	外部委託しない	200	【目的】 がんの早期発見 【概要】 郵送キットによるスクリーニング検査、人間ドック・特定健診のオプション健診費用の一部負担	がんの早期発見・早期治療を目標とした郵送がん検診およびオプション健診を実施し、がんの占める医療費を削減させる	がん種別では乳がんの医療費が最も高いが、肺、女性生殖器、前立腺が大きく上昇した。		
受診者数の増加(【実績値】 0人 【目標値】 令和6年度：0人)予算は費用助成の予算を記載。受診者数は現在把握できていないため0を入力しているが、今後把握していく														がんの早期発見にはつながるが、直接成果を把握することが困難なため (アウトカムは設定されていません)				
3	既存	乳がん検診	全て	女性	20～74	被保険者,その他	3	ウ	-	シ	-	外部委託しない	200	【目的】 がんの早期発見 【概要】 人間ドック・特定健診のオプション健診費用の一部負担、乳がん触診体験、触診用手袋の配布	がんの早期発見・早期治療を目標とした郵送がん検診およびオプション健診を実施し、がんの占める医療費を削減させる	がん種別では乳がんの医療費が最も高いが、肺、女性生殖器、前立腺が大きく上昇した。		
受診者数の増加(【実績値】 0人 【目標値】 令和6年度：0人)予算は費用助成の予算を記載。受診者数は現在把握できていないため0を入力しているが、今後把握していく														がんの早期発見にはつながるが、直接成果を把握することが困難なため (アウトカムは設定されていません)				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
4	新規		糖尿病性腎症 重症化予防	全て	男女	40 ～ 74	被保険者	1	イ,ク			ウ,シ		300	基準値を上回る被保険者に保健指導を実施する	基準値を上回る被保険者に保健指導を実施する	糖尿病（2型）の患者が84名
実施人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2人)-													定量化できないため (アウトカムは設定されていません)				
3	新規		歯科保健指導	全て	男女	20 ～ 74	被保険者	3	イ,ク			シ		0	歯科検診への費用補助を行う 歯科健診の結果に基づき歯科医療機関への受診勧奨を行う	歯科の治療放置群を削減する	該当なし
実施体制確立に向けた進捗率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5%)令和11年度までに、実施体制を確立する													-				
3	新規		市町村がん検診受診勧奨	全て	男女	20 ～ 74	加入者 全員	1	ス			オ		0	市町村が行うがん検診の受診勧奨を行う	がんの早期発見・早期治療	がん種別では乳がんの医療費が最も高いが、肺、女性生殖器、前立腺が大きく上昇した。
参加勧奨率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)-													-				
8			各種予防接種 の受診勧奨	全て	男女	22 ～ (上限なし)	被保険者, 任意継続者	3	ケ,サ			コ,シ		2,100	【目的】 感染症罹患者の減少 【概要】 職場における集団接種の実施と予防接種費用の助成（インフルエンザ：2,000円）	予防接種の励行により、感染症の流行を抑制する	該当なし
周知率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)-													-				
3	既存		肺がん検診	全て	男女	20 ～ 74	被保険者, その他	3	ウ,シ			シ			【目的】 がんの早期発見 【概要】 人間ドック・特定健診にて実施	がんの早期発見・早期治療を目標とした郵送がん検診を実施し、がんの占める医療費を削減させる	がん種別では乳がんの医療費が最も高いが、肺、女性生殖器、前立腺が大きく上昇した。
受診率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)目標値は0を入力しているが、今後設定していく													がんの早期発見にはつながるが、直接成果を把握することが困難なため (アウトカムは設定されていません)				
5	既存		ヘルスアップ ・キャンペーン	全て	男女	20 ～ 74	加入者 全員	1	ケ			シ		3,000	【目的】 健康・体力づくり、運動の習慣化 【概要】 健康強化月間に連携した2か月間のキャンペーン	運動習慣がない人に、運動の機会を提供する	該当なし
キャンペーンの周知(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)通知文書およびホームページでの案内等により参加を促す													アプリ導入者の参加率(【実績値】 36.7% 【目標値】 令和6年度：30%)令和5年度はMy Health Webの登録者の参加率を記載				
5			スポーツジムの 利用促進	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者 全員	1	ケ,ス			シ		0	【目的】 スポーツジムと提携し、運動の機会を増やし、健康・体力づくり、運動の習慣化を図る 【概要】 ホームページやイントラネットで周知し、利用の促進を図る	ホームページやイントラネットで周知し、利用の促進を図る	該当なし
情報提供(【実績値】 3回 【目標値】 令和6年度：3回)-													-				
8	新規		PHRの環境整備	全て	男女	22 ～ (上限なし)	加入者 全員	1	ア,エ,ケ			コ,シ			【目的】 保健事業の円滑な運営推進 【概要】 従業員の医療データの一元管理	健康・医療の情報を統合・一元管理し、被保険者に最も合ったサービスを提供する。	該当なし
アプリ登録環境整備(【実績値】 -% 【目標値】 令和6年度：100%)-													アプリ登録率(【実績値】 -% 【目標値】 令和6年度：25%)-				

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「\*」がついている事業は共同事業を指しています。また、事業名の後に「\*\*」がついている事業はPFS事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施

ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築

ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他